

月/日	会場	実施時間
5/12 (金)	農村環境改善センター(沢海)	9:15~9:45
	農業構造改善センター(木津)	10:05~10:30
	二本木公会堂	10:50~11:30
	川根谷内公会堂	11:45~12:15
	小杉コミュニティセンター	13:30~14:00
	横越町役場前	14:20~15:35

上記の会場以外の集合注射会場で注射を受けることはできません

犬に年1回の狂犬病予防注射を受けさせないと法律で罰せられます。犬の健康のためにも、必ず予防接種を受けましょう。町では、狂犬病予防注射を5月12日(金)に実施します。当日は、犬を制御できる方が連れてきてください。制御できないと注射はできません。登録済みの方には、はがき(通知)が町から注射日前に個人あてに送付されますので、忘れずに持

年1回は受けさせましょう 狂犬病予防注射

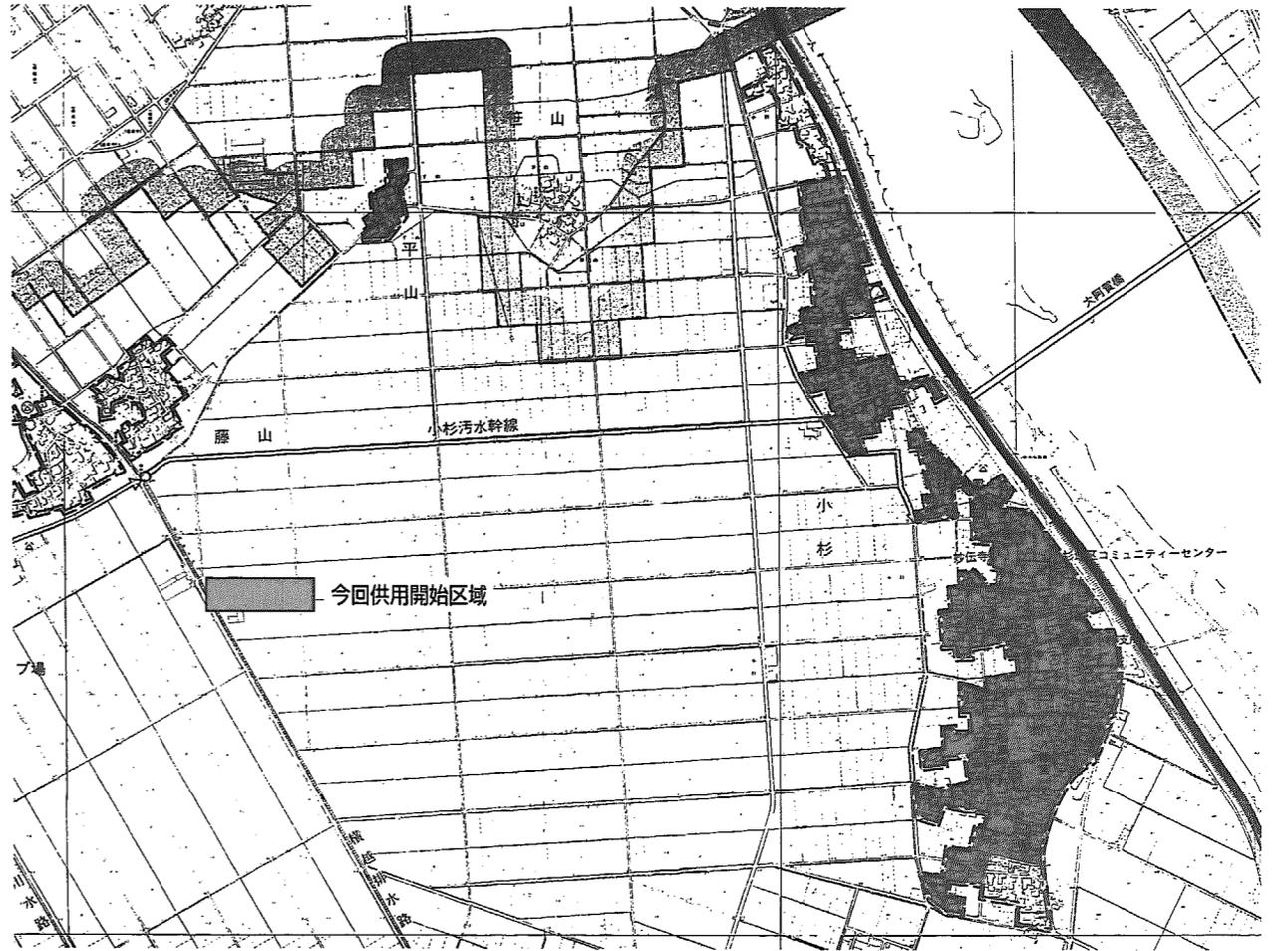


参ってください。はがき裏面に犬の健康状態の問診がありますので、必ず事前に記入をお願いします。

- ▼犬の登録・注射料金
登録済みの方ではがきを持参した人は、注射料金は3,100円です。
新規に犬(生後91日以上)を飼う方は、登録・注射料金を合わせて6,100円です。
- ▼注意事項
体調の悪い犬は事前に獣医師に相談してください。
犬が死亡したり、人に譲渡、転居等をした場合は、市町村役場へ連絡してください。
今回の注射を受けられない場合は、はがきを持って動物病院で受けてください。
フンの始末用にちり紙・ビニール袋等を持参してください。

整備進む下水道

早期の下水道利用をお願いします



下水道 供用開始のご案内

昨年より工事を行ってきた小杉地区の下水道工事が完了し、同地区において4月1日より下水道の利用、水酸化ができるようになりました(一部の地区を除く)。家庭雑排水や風呂、トイレの排水を下水道に直接流すことにより、環境整備が一層図られ、蚊やハエなどの害虫発生の防止、悪臭などの公害がなくなり、衛生的でより快適な生活を営むことができるようになります。今回の供用開始により、平成11年度末の本町の下水道普及率は90・3%になりました。なお、本町における水酸化率は75・2%で、地区別の水酸化率は下表のとおりです。排水設備工事には融資・斡旋制度もありますので、環境整備のために、供用区域の方々の水酸化をお願いします。

排水設備工事は 町指定工事店で

指定工事店制度の規制緩和により、一定の要件を備えていれば町の指定工事店になることができるようになりました。4月1日現在で、57社を指定工事店として認定しています。排水設備工事を依頼するとき

い存じですか? 検察審査会

検察審査会は、検察官が「犯人の処罰を求めない」として不起訴処分にしたことについて、被害者や告訴人、あるいは告発人などから審査の申立てがあれば、国民から選ばれた11人の検察審査員によって、その処分の当否を審査します。

◎秘密は守られます。

やさしい庭先果樹講座 参加者募集

▼期日 1回目…5月20日
2回目…6月17日
3回目…11月18日
(いずれも土曜日午後)

▼対象者・定員 一般 いずれも各50人
申込み順で、50人になり次第締め切ります。

▼申込み 官製ハガキに住所、氏名、電話番号を記入して、下記あてにお申し込みください。

日程	内容
1回目 5月20日	講義：果樹の年間管理について 実習：摘蕾、摘果、新梢管理等
2回目 6月17日	講義：主な病害虫と防除法、肥料の種類とやり方等 実習：摘果、袋掛け、新梢誘引等
3回目 11月18日	講義：せん定の考え方、主な品種の特徴 実習：モモ、ブドウ等の整枝、せん定、苗木の植え付け方法

申込期限は原則として講座開催10日前まで。
〒953-0041 西蒲原

5月資源ゴミ収集日

地区	収集日
横越・川根谷内	9日(火)
	23日(火)
その他の地区	11日(木)
	25日(木)

3月資源ゴミ収集実績

空きびん	6.9 t
空き缶	5.7 t
古紙	29.9 t
合計	42.5 t



郡巻町大字巻甲12021
新潟県農業大学校 研修センター
▼受講料 無料
▼持参品 作業衣、長靴

- ▼融資・斡旋額 工事1件につき60万円以内
- ▼融資利率 金融機関との協定利率(現在利率2・90%)
- ▼融資時期 工事検査合格後
- ▼償還方法 最高36カ月の元利均等月賦償還
- ▼利子補給 水酸化の時期により異なります。処理区域の公示日から
- ①1年以内の場合全額補給
- ②2年以内の場合半額補給
- ③3年以内の場合補給はなし(融資の斡旋はします)

指定工事店など、下水道設備工事に関するお問い合わせは、建設企業課下水道係までお問い合わせください。
☎38512111

◇地区別水酸化率

横越	90・8%
沢海	73・0%
木津	60・0%
二本木	75・7%
藤山	74・1%
駒込	67・8%
(藤山・駒込とも、うぐいすタウンを含む)	